

INSTRUCTOR No.20

(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会

平成17年度総会議事録

日時 平成16年7月31日(土)13:00~14:30

場所 第1回常任幹事会と同じ

出席者

名誉役員 菅 秀文 荒井 哲夫 林 権一 片岡 春夫
浦辻 直

現役員 田 英夫 坂井 敏夫 近藤 晃 半沢 進
阿部 雄三 大澤 佑吉 杉崎 壽三男 福地 白
吉田 勇夫 広岡 和夫 長澤 光雄 山崎 一正
水島 秀夫 藤木 昇 矢船 保夫

幹事 喜澤 一史 飯田 誠一 鈴木 勘重 荻野 恒夫
高橋イキエ

監査 渡辺 忍

委任

常任幹事 綱川 千夫 宮沢 一英 吉田晃一郎 古賀 澄夫
小笠原健一

幹事 丸山 恭一 大熊 忠男 林 茂美 古藤 公昭
水島三千夫 小林 賢 岸田 栄吉 仲辻 顕
東野喜代一 平岡 弘一 山本 弘茂 澄田 修
安富 高行 古川 芳伸 光田 督 柏井 昭文
馬場 博己 徳永 富夫 西村 幸雄

監査 三上 一 榎本 建司

一般会員 宮城県指1名、東京都指会員24名、
都連役員3名、神奈川県指会員2名、
協賛各社4名

事務局 高橋イキエ 島村 一男 岸田 典子

定足数報告 阿部副会長より定足数44名に対して出席者
役員20名、委任役員24名。

本規約第20条により総会が成立していることを宣言。

今期物故者に黙祷

阿部副会長より今期ご逝去された各先生のご案内があり、
ご冥福をお祈りして一同黙祷。

速水 潔 先生(平成15年6月25日没)

片桐 匡 先生(平成15年11月15日没)

石田 久夫 先生(平成15年12月31日没)

金井 英一郎 先生(平成16年5月2日没)

松本 一克 先生(平成15年8月11日没)

1. 開会の辞 坂井副会長

2. 会長挨拶

酷暑の中お集まりくださりありがとうございます。年に一度の総会ですので、自由活発に意見を出し合ってください。近年の若者層のスキー離れについて、対策を講ずることができないままであるのはとても残念です。自然のなかで限りなく楽しいスポーツとして正しいスキーを伝え教える役割を担っていることを考えると、私達にも責任があると思います。この総会でスキー人口の減少解明に結びつくよう議論を行ってください。この夏は、オリンピック年でスポーツへの関心が大いに盛り上がっていますが、会場周辺における軍隊の厳重警備強化という状況を見ると、本来のスポーツの姿とはとても言いが

たい。真のスポーツとは何か、追究することを頭におきながらスキースポーツの発展にご尽力をお願いしたいと思います。

3. 議長選出 田会長

4. 書記任命 議長より島村、岸田両事務局員を指名

5. 議事録署名人 山崎一正、矢船保夫 常任幹事を選出

6. 議事運営の確認

7. 平成16年度概況報告

水島幹事長より別刷総会資料にて概況報告説明。

・財政の健全化について...不良在庫整理、販売キャンペーンにて現在2万円余の在庫として適正化

・年会費未収案件について...度重なる請求書発送による督促強化を推進中。

・会のグローバル化...会報「インストラクター」への投稿を各県連に広く求め、紙上参加を充実

・事業面...第5回S I Jカップフェスティバルの盛況な成果の報告と御礼

1) 一般報告

水島幹事長より別刷総会資料により報告

2) S A J 報告他 杉崎特別幹事(S A J 教育本部)
S A J 報告

・6月26日赤坂プリンスホテルにて、新年度の役員改選が行われた。それに伴い専門委員も改選。80周年記念事業の行事を検討している。

・会員登録については、毎年減少傾向にある。平成16年度の会員登録数は約2,800名の減。

・財政に関して、スポンサーが近年減っているなか、オリンピックに向けて経費削減の努力をしている。

・事業面に関して教育本部の動向は16年度教育本部報告書に掲載されている。主なものは16年度は教程を改定した。新しい形のスキーの指導を新教程でやって行きたい。

・デモンストレーターについて、前年度に比べて大幅に拡大。ナショナルデモを28名、SAJデモを45名選出。技術選手権について、シャープがスポンサーに付き、盛況の中で好評を博し、海外からも注目されている。

・功労指導員制度は、準指及び指導員期間合わせて通算20年以上、60歳以上で取得できるよう、名称も功労指導者と変え規約の一部改訂を検討中である。

・会員証を2つ折り形態に変更し、履歴等各表示を行い、シールの添付制度を廃止。

S A J 海外スキー交流の計画について連絡

田 和夫全日本スキー連盟国際渉外委員長

・国際スキー指導者連盟総会(IVSI)・視察団派遣について...2005年4月2日~9日に行われるオーストリア・リッヒでの総会において、最新のスキーの指導方法とデモンストレーションとワークショップを開催。視察団を募集する予定。

・日韓スキー指導者セミナーについて...近年の韓国ブームの中で、次期インタースキーがヨンピョンで開催される。来シーズン、日本デモと同行訪韓し、韓国デモ(25名)

と交流会を持つ予定。

8. 議事

1) 平成16年度 会議、事業及び本部会計収支決算報告
水島幹事長より別刷総会資料の通り報告。

・今後の検討課題として、決算書のフォーマットの見直しを掲げる。書式の改訂にあたって、東京都指馬場先生に指導を仰ぐ予定。

2) 監査報告 渡辺監査より 別刷総会資料の通り監査報告。

6月18日を基準に3人で持ちまわり提示資料の精査。
指摘事項無し。

3) 平成17年度 事業計画(案)及び収支予算(案)
大澤事業担当副会長より別刷総会資料の通り報告説明。

・総会資料P11の訂正...スキー大学の日程変更。
1月8日~10日に変更。

・スキー大学自体の申し込みに関しては、各都道府県連
窓口の受け付けとなる

4) 平成17年度本部会計予算(案)

藤木事務局長より 別刷総会資料の通り報告説明。
以上について一括承認された。

5) 規約一部改正(案)

水島幹事長より 別刷総会資料の通り報告説明。
満場一致で承認された。

6) その他

年会費未納の件(阿部副会長)

・総会資料P8の訂正.....年会費滞納状況表において 未
払い年度 を 未収年度 へ訂正

・未収金の回収について.....甲信越(未納金90万円)と
東海北陸(未納金45万円)については請求書を度々送付。
成果として、福井県より31,500円の振込みを受領。

長野県より60,000円の振込みを受領。その他、回収は徐々に進んでいるが、引き続き納入の督促、請求を続けていき

たい。

会報20号について、11月1日発行にむけて準備を進めている。会報掲載の原稿依頼を各ブロックに広く依頼中。

マスターズベテラン研修会についての提案(水島幹事長)
助成金を要請することなく、講師料を含めた経費の参加者均等負担による研修会の開催において、指導者連盟等主催のマスターズベテラン研修会をSAJ研修会の出席扱いとしてもらえるよう、SAJに要望をだす予定
北海道スキー指導者連盟坂井会長より 北海道提案
...別紙提案内容説明

・SIJカップフェスティバルの運営についての要望
(喜澤 幹事)

【大澤副会長より応答】 昨年の実施状況、提案事項等考慮しながら検討していきたい。

・全日本スキー連盟の資格制度を補完する名誉的な制度の発足に関する要望(喜沢幹事)

【水島幹事長より応答】 北海道提案 を十分に検討させて頂いて、名誉職・名称について具体的に考えていきたい。

【田会長】 チームを作って具体的に検討していく必要があるのではないか?

【坂井副会長】 スキーの普及発展に努めてきて既に技術的な第一線を退いている指導員に対して、功労に報いる名誉的地位が組織されていないのは遺憾なことだ。研修会の出席義務制度についても考え直す必要があるのではないか?

9. 書記解任

10. 議長解任

11. 閉会の辞 広岡常任幹事

以上の議事録を証するため下記に署名する。

平成16年7月31日

議長 田 英 夫 印
議事録署名人 山 崎 一 正 印
議事録署名人 矢 船 保 夫 印